

公益社団法人日本プロゴルフ協会 2024年度 事業報告書

自：2024年1月1日～至：2024年12月31日

【公益目的事業】

公1「ゴルフの正しい普及ならびにゴルフ分野のスポーツ振興及びゴルフを通じた

社会貢献を行う事業」

1. ティーチングプロ資格認定事業

ティーチングプロ資格の認定のため、A級・B級の2階級で講習会を実施。B級講習会は、新規にティーチングプロ資格の取得を希望する者のためのB級（新規）講習会に加え、既存のトーナメントプレーヤー会員、C級会員に対するB級（移行）講習会の2種類を実施した。

A級講習会は118名（PGA62名／内女性9名、JLPGA56名）が受講。PGAの受講者で講習会を修了した62名に対し、2025年1月1日付けでティーチングプロA級資格を認定する。

B級（移行）講習会はトーナメントプレーヤー会員1名、C級会員2名が受講、2025年1月1日付けでティーチングプロB級資格を認定する。

B級（新規）講習会は115名（PGA95名／内女性11名・JLPGA20名）が受講。PGAの受講者でレポート・検定に合格し講習会を修了した77名（内女性8名）に対し、入会セミナーを実施。入会セミナーの受講を経て、2025年1月1日付けでティーチングプロB級資格を認定、入会登録となる。

2025年度B級（新規）講習会のための審査は237名（内女性21名）が受験。選定審査（書類審査・プレ実技審査・実技審査・面接及び筆記試験）を通過した84名（内女性14名）と筆記試験のみのJLPGA18名が合格。2025年度B級（新規）講習会の受講資格を認めた。

2. トーナメントプレーヤー資格認定事業

トーナメントプレーヤー資格の認定のため、資格認定プロテストを実施。プレ予選2会場、1次プロテスト2会場、2次プロテスト3会場、最終プロテスト1会場の4段階で実施した。その結果、51名が合格、入会セミナーの受講を経て、2025年1月1日付けでトーナメントプレーヤー資格を認定、50名が入会登録となる。（1名はティーチングプロ資格保有者のため）

また、一般社団法人日本ゴルフツアー機構が管轄するジャパングolfツアー賞金ランキングシード権取得者、また顕著な実績を持つ選手（計4名）については、入会セミナーの受講により、2025年1月1日付けでトーナメントプレーヤー資格を認定、入会登録となる。

3. プロゴルファーの資質向上事業

(1) 研修会

会員を対象として技術研鑽と資質向上を目的に、年間を通じて全国15会場にて研修会を実施し、1,597名が参加した。

(2) PGAティーチングプロアワード

優れた指導理論やレッスンの新たなアイデア、顕著な活動実績を持つプロゴルファーを表彰するPGAティーチングプロアワード（以下：TCPアワード）が開催され、最優秀賞に町田祐基会員（A級）、優秀賞に北山雄一郎会員（A級）、高野逸夫会員（B級）が受賞された。

(3)PGAマネジメントプログラム

会員の資質向上を目的としたPGAマネジメントプログラム実施予定だったが、今年度は実施されなかった。

4. ゴルフの正しい普及のためのジュニア育成事業

(1)ジュニアゴルファー育成プロジェクト

地方自治体とタイアップし、自治体等が募集した主にゴルフ未経験の小学生に対して、ゴルフを経験させていくジュニアゴルファー育成プロジェクトは、市原市が子供達に対するゴルフ振興を目的とした取り組みである「市原市ジュニアゴルフスクール」にPGA会員を派遣した。

(2)キッズゴルフ体験会

当法人が主催または公認する競技において、開催コースの近隣の小学校を通じて募集した主にゴルフ未経験のジュニアに対してゴルフを体験させるキッズゴルフ体験会は、日本プロシニアで実施し、13名の応募があり、11名が参加した。

(3)ジュニアゴルフスクールへのプロゴルファー派遣

公益財団法人日本ゴルフ協会ならびに関連団体が全国各地で実施するジュニアスクールに対して、当法人所属のプロゴルファーを104会場、406名を派遣した

(4)日本ジュニアゴルファー育成協議会への支援

子供たちへのゴルフの普及、啓発事業、指導者養成事業などを行い、社会活動の推進及びスポーツの振興に寄与することを目的として、1999年にゴルフ関連10団体（公益財団法人日本ゴルフ協会、公益社団法人日本プロゴルフ協会、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフツアー機構、一般社団法人日本ゴルフトーナメント振興協会、公益社団法人日本パブリックゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフ用品協会、公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟、一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会、一般社団法人日本高等学校・中学校ゴルフ連盟）によって創設された、NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会（JGC）の活動に対して以下の支援を行った。

- ① JGCが主催または協力するゴルフ体験会、ゴルフレッスン会等のジュニアイベントに対し指導者並びに事務職員を派遣した。
- ② 助成金として150万円を支出。

(5)PGAジュニアリーグ

13歳以下のジュニアゴルファーを対象にコミュニティの場を創出することを目的にリーグ戦形式の競技会PGAジュニアリーグは、北海道・北関東・千葉・東京・神奈川・中部・大阪・兵庫・九州ディビジョンの9地区に加え、新たに埼玉・中四国がそれぞれ独立し中国・四国ディビジョンを加えた、全国12ディビジョン、71チーム、596名が参加した。西日本地区優勝決定戦は、10月13日に開催され、中部ディビジョンのZassoが優勝、東日本地区優勝決定戦が9月23日に開催され、北海道ディビジョンの札幌NBが優勝した。尚、決勝大会は11月9日（土）三木GC（兵庫）において開催され、中部地区代表のZassoが連覇で優勝した。優勝チームは12月8日（日）に開催されるHitachi 3Tours Championship 2024に招待され、試合を観戦した。

5. ゴルフ分野のスポーツ振興のための主催競技開催事業

(1)日本プロゴルフ選手権大会及び日本プロゴルフ選手権大会予選会

第91回日本プロゴルフ選手権大会

開催日：2024年7月4日（木）～7日（日）

場 所：富士カントリー可児クラブ可児ゴルフ場志野コース（岐阜県）

優勝者：杉浦 悠太

備 考：予選会（全国14会場）を実施。

(2) 第63回日本プロゴルフシニア選手権大会 TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS ULTRAMAN CUP

開催日：2024年10月3日（木）～6日（日）

場 所：イーグルポイントゴルフクラブ（茨城県）

優勝者：増田 伸洋

(3) 日本プロゴルフグランド・ゴールドシニア選手権大会 ユニテックスカップ2024

開催日：2024年9月27日（金）～28日（土）

場 所：宝塚クラシックゴルフ倶楽部（兵庫県）

優勝者：ゴールドの部 室田 淳 グランドの部 東 聡

備 考：予選会として関東・関西グランド・ゴールドシニア選手権大会を以下の通り実施

関東プロゴルフグランドシニア選手権大会

開催日：2024年5月21日（火）～22日（水）

場 所：箱根湖畔ゴルフコース（神奈川県）

優勝者：崎山 武志

船橋カントリークラブカップ 関東プロゴルフゴールドシニア選手権大会

開催日：2024年5月14日（火）～15日（水）

場 所：船橋カントリークラブ（千葉県）

優勝者：大野 雅幸

ドゥ・ヨネザワ企業グループカップ

関西プロゴルフグランド・ゴールドシニア選手権大会

開催日：2024年5月15日（水）～16日（木）

場 所：熊本ゴルフ倶楽部 阿蘇湯の谷コース（熊本県）

優勝者：ゴールドの部 伊藤 正己 グランドの部 堤 隆志

(4) 第26回日本プロゴルフ新人選手権大会 富士可児カップ

開催日：2025年3月4日（火）～5日（水）

場 所：富士カントリー可児クラブ志野コース（岐阜県）

優勝者：2025年3月開催のため、未定

備 考：2024年開催は年末になる為、翌年3月に開催

(5) PGAティーチングプロ選手権大会及びティーチングプロ選手権予選会

第26回PGAティーチングプロ選手権大会

サンコーカントリークラブカップ2024

開催日：2024年10月30日（水）～31日（木）

場 所：サンコーカントリークラブ・東コース（群馬県）

優勝者：大瀧 一紀

備 考：併せて予選会を3会場で実施。

第4回PGAティーチングプロ女子選手権大会

サンコーカントリークラブカップ2024

開催日：2024年10月30日（水）～31日（木）
場 所：サンコーカントリークラブ・東コース（群馬県）
優勝者：入江 亜衣

第20回PGAティーチングプロシニア選手権大会
開催日：2024年10月9日（水）～10日（木）
場 所：静ヒルズカントリークラブ（茨城県）
優勝者：渡辺 龍策
備 考：併せて予選会を3会場で実施。

第13回PGAティーチングプログランドシニア選手権大会
開催日：2024年11月6日（水）～7日（木）
場 所：烏山城カントリークラブ・本丸、三の丸コース（栃木県）
優勝者：宝力 寿教

第4回PGAティーチングプロゴールドシニア選手権大会
開催日：2024年11月6日（水）～7日（木）
場 所：烏山城カントリークラブ・本丸、三の丸コース（栃木県）
優勝者：島村 豆至天

(6) PGAジュニアゴルフ選手権大会 太平洋クラブカップ
開催日：2024年8月19日（月）～20日（火）
場 所：太平洋クラブ益子PGAコース（栃木県）
優 勝：関西チーム

6. ゴルフを通じた社会貢献及びゴルフ普及事業

(1) PGASDGs 地区事業

- ① 地域のゴルフ普及、振興または社会貢献（チャリティ）を目的としたゴルフイベントを全国47会場で実施し、延べ3047名が参加した。各地区で実施したイベントの内容により助成金額を決定し、総額7,912,124円の助成を行った。尚、本事業によるチャリティ金の総額は3,260,973円となった。
- ② 春休み親子または祖父（祖母）と孫のペアでのゴルフレッスン会には525名が参加した。助成金の総額は1,871,495円であった。
- ③ 地域ジュニア委員が企画、実施するジュニア育成活動には813名が参加した。助成金の総額は5,048,925円だった。

(2) 障害者ゴルフ大会

本大会は障害者の方にゴルフを楽しんでもらう場を提供すると共に、障害者ゴルファーの技術向上を目指し、身体障害者を対象としたゴルフ競技会を開催。11月12日（火）に若洲ゴルフリンクス（東京都）にて実施し、93名が参加した。

(3) 国際交流事業

海外で行われるシニアの国際大会に選手を派遣すると共に、海外プロゴルフ協会（PGA）との情報交換ならびに親善を図った。

- ・ 全米シニアプロゴルフ選手権（5月23日～26日・米国）
- ・ 全米シニアオープンゴルフ選手権（6月27日～30日・米国）

- ・ 全英シニアオープン（7月25日～28日・スコットランド）

（4）広報事業

ゴルフ普及のための広報事業として、以下の事業を実施。

① 公式ホームページの開設

公式ホームページに当法人の概要や活動状況、競技情報などを掲載し、広く一般に告知した。

② 情報メディアの活用

公式ホームページと連動させた公式Facebookをはじめ、Instagram、YouTubeなどSNSを活用し、当法人の概要や活動状況を広く一般に情報を発信することで、関心を高める。

③ PGAシニアツアー競技成績の報道機関への配信

共同通信社と提携し、共同通信社から競技成績を配信することにより、PGAシニアツアーの成績が新聞各紙に掲載されるよう図った。

④ ゴルフフェア

一般社団法人日本ゴルフ用品協会が主催し毎年3月に開催されたジャパングolfフェアに当法人の特設ブースを出展し、実施事業の紹介、ゴルフレッスン会などを実施。

⑤ 競技記録の管理

シニアツアー及び1999年以前のレギュラーツアーの記録を管理し、一般ならびに報道機関などからの問い合わせ等に対応を行った。

（5）出版事業

正しいゴルフ普及のため、当法人が長年の経験と実績に基づいて作成したゴルフ指導書（PGA基本ゴルフ教本、ジュニア基本ゴルフ教本、ゴルフはじめてブック）の出版、販売を行った。

（6）ゴルフのルール及びマナーに関する研究調査事業

本年度も、当法人の専門競技委員会を中心にルール解釈や裁定について公益財団法人日本ゴルフ協会（JGA）との意見交換や、JGARルールテストを基本とした自己啓発に取組みを行う。さらに、JGAや一般社団法人日本ゴルフツアー機構（JGTO）の主催競技に専門競技委員会を派遣。また、JGTO、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会（JLPGA）と3団体で主催するHitachi 3Tours Championshipも通じて、最新のルール裁定、ルールの変更点に対する解釈などについて学び、活発な意見交換を行った。これらで得られた情報は、当法人が開催する研修会ならびにティーチングプロ講習会、入会セミナーなどで実施するルール講習において周知すると共に、その情報をもとに、当法人のローカルルール（当法人が関係するすべての競技に適用）を作成して会員及び競技に参加するアマチュア選手に配布し、正しいルールの普及に努めた。

（7）PGAゴルフエバンジェリストの任命と支援

持続的な新規ゴルファー創出と、「グッドゴルファー」育成の仕組み化の一環として一般ゴルファーを対象とした「PGAゴルフエバンジェリスト」の任命と業界全体での活動サポートを行う。2024年度の任命対象者はなし。

※ エバンジェリストとは「伝道師」や「伝道者」といった意味合いである（近年、IT業界では、IT技術を伝える役割を担う新しい職種として使われている）。

（8）ゴルフ未経験者及び初心者を対象としたゴルフ場体験会の実施

「新規ゴルファー創出と育成」を目的として、ゴルフ未経験者・初心者（ゴルフ場未体

験者)を対象とした「ゴルフ場体験会」、2024年度は以下の6会場で実施した。

- | | | | |
|---|-----------|--------------|-------|
| ① | 3月20日(水祝) | 三木ゴルフ倶楽部 | (兵庫県) |
| ② | 5月25日(土) | ブリック&ウッドクラブ | (千葉県) |
| ③ | 9月6日(金) | 千葉国際カントリークラブ | (千葉県) |
| ④ | 9月15日(日) | 愛岐カントリークラブ | (岐阜県) |
| ⑤ | 10月27日(日) | 山陽ゴルフ倶楽部 | (岡山県) |
| ⑥ | 11月10日(日) | 犬山カンツリー倶楽部 | (愛知県) |

【収益事業】

収1 競技関係事業

1. シニアツアー事業

主催競技以外でPGAシニアツアー競技として開催を希望する競技(スポンサー競技)を公認し主管として管理を行った。また、1年間を通したツアー制度を実施し、公式賞金ランキングを作成。更に、シード資格(優先出場資格)を持たない選手に対して、出場優先順位を付与するためのシニアツアー予選会を実施した。

本年度、シニアツアー競技として実施された試合は以下の通り。

ノジマチャンピオンカップ 箱根シニアプロゴルフトーナメント

開催日: 2024年4月18日(木)~19日(金)

場 所: 箱根カントリー倶楽部(神奈川県)

優勝者: 兼本 貴司

すまいーだカップ シニアゴルフトーナメント

開催日: 2024年5月30日(木)~6月1日(土)

場 所: イーストウッドカントリークラブ(栃木県)

優勝者: 片山 晋呉

第24回スターツシニアゴルフトーナメント

開催日: 2024年6月14日(金)~16日(日)

場 所: スターツ笠間ゴルフ倶楽部(茨城県)

優勝者: 宮本 勝昌

倉本昌弘 INVITATIONAL 第1回 EAGLE CUP シニアオープンチャリティートーナメント

開催日: 2024年8月14日(水)~15日(木)

場 所: 札幌ベイゴルフ倶楽部(北海道)

優勝者: 宮本 勝昌

第11回マルハンカップ 太平洋クラブシニア

開催日: 2024年8月24日(土)~25日(日)

場 所: 太平洋クラブ軽井沢リゾート浅間コース(群馬県)

優勝者: 伊澤 利光

コマツオープン2024

開催日: 2024年9月5日(木)~7日(土)

場 所: 小松カントリークラブ(石川県)

優勝者: 平塚 哲二

第34回日本シニアオープンゴルフ選手権競技
開催日：2024年9月12日（木）～15日（日）
場 所：千葉カントリークラブ・川間コース（千葉県）
優勝者：崔 虎 星

第11回 トラストグループカップ佐世保シニアオープンゴルフトーナメント
開催日：2024年10月12日（土）～13日（日）
場 所：佐世保カントリー倶楽部（長崎県）
優勝者：ソク・ジョンユル

ファンケルクラシック
開催日：2024年10月18日（金）～20日（日）
場 所：裾野カントリー倶楽部（静岡県）
優勝者：宮本 勝昌

第8回福岡シニアオープンゴルフトーナメント
開催日：2024年10月26日（土）～27日（日）
場 所：福岡カントリー倶楽部 和白コース（福岡県）
優勝者：P・マークセン

コスモヘルスカップ シニアゴルフトーナメント2024
開催日：2024年11月1日（金）～2日（土）
場 所：鳩山カントリークラブ（埼玉県）
優勝者：増田 伸洋

第12回いわさき白露シニアゴルフトーナメント
開催日：2024年11月22日（金）～24日（日）
場 所：いぶすきゴルフクラブ（鹿児島県）
優勝者：塚田 好宣

2. 各種競技事業

シニア後援競技、シニア特別協力競技、主管競技、後援競技、協力競技などの名義を貸与し、競技委員を派遣して競技の管理を行った。

本年度は以下の競技が実施された。

【シニア後援競技】

ジャパンクリエイトカップ ジュニア&シニアオープントーナメント 優勝：宮本勝昌

アイドマMCカップシニアオープン 優勝：久保谷健一

周防灘カントリークラブ50周年記念
PGAシニアプロアマトーナメント 優勝：飯島 宏明

PGAヒッコリーゴルフトーナメント
TAIHEIYO CLUB CUP 2024 優勝：倉本 昌弘

シンコーハイウェイサービス鴻巣シニアオープン 優勝：東 聡

【後援競技】

第41回岐阜オープンクラシック2024

優勝：近藤 龍一

野萩カップPGA後援2024

優勝：勝俣 陵

北陸オープンゴルフトーナメント2024

優勝：金岡 奎吾

【特別協力競技】

たにもとチャンピオンズカップゴルフ2024

優勝：鈴木 亨

3. 共同主催競技事業

一般社団法人日本ゴルフツアー機構（JGTO）及び一般社団法人日本女子プロゴルフ協会（JLPGA）との共同主催により、Hitachi 3Tours Championship 2024 を実施し、JLPGAチームが優勝した。

収2 その他収益事業

1. 商標関係事業

「PGA」や「PGA TOUR」などの商標を管理し、企業やゴルフ場などに商標を貸与した。

また、ソニーミュージックと提携し、プロゴルファーとの交流を中心としたサービスを展開するファンクラブを組織し、ゴルフの普及を図った。

【その他事業】

他1 会員事業他

1. 会員のための競技はプロテスト選考会1会場、グランドシニア選考会1会場を実施した。

2. 会報誌「PGAレポート」は1月、8月の2回発行し、新規入会者へのウェア等の配付、会員証の発行、慶弔費の支給、公認ゴルフスクールの認定など、会員に対するサービスを行った。

3. 日本プロゴルフ殿堂に関する事業

プロゴルフ界の発展に貢献したプロゴルファーを表彰することを目的として設立された一般財団法人日本プロゴルフ殿堂の活動支援を行った。

4. PGAチャンピオンシップサミット

当法人の事業への協力を感謝の意を表し、協賛社、マスコミ、関連団体などを招待したパーティー等を開催予定だったが、今年度は実施されなかった。

【コンプライアンス関連】

2014年4月に内閣府より受けた勧告を踏まえ、当法人としてコンプライアンスの徹底と暴力団排除の取り組みを引き続き実施し、2016年5月に第4回目の報告書を提出した。

なお、2014年から2016年にかけて提出した4回の報告書に対して、2016年7月25日に公益認定等委員会の事務局より、「委員会において報告書が承認されたので、当法人は通常の監督状態に戻った」との連絡をいただいた。

これにより、勧告という状況は終了したが、これで全てが終わりではなく、2013年の不

祥事を忘れることなく「コンプライアンスに終わりはない」との認識のもと、今後も、これまでと同様のコンプライアンス体制を維持し、暴力団排除とコンプライアンスの徹底に勤めていくこととしている。

当法人が2024年度に実施したコンプライアンスに関する主な施策は以下のとおり。

- ① 2024年12月に実施した入会セミナーにおいて、ティーチングプロならびにトーナメントプレイヤーとして入会を予定している者に対して、当協会の参与（警察OB）より暴力団排除およびコンプライアンスに関する講義を実施した。併せて、事務局より定款、倫理規程の説明の中で、パワーハラスメント、セクシャルハラスメントなどに関する注意喚起を行うとともに、改めてPGA119番についての説明を行った。
- ② 2014年5月から運用を開始したコンプライアンス相談・通報窓口「PGA119番」への通報については必要に応じてコンプライアンス委員会で事実関係を調査の上、対応を行っている。
- ③ 会員の不祥事案について、懲罰諮問委員会で調査、審議の上、提出された答申を踏まえ、理事会において懲罰を決定することとしているが、2024年度は2件、会員に対する懲罰の案件があり、定款ならびに倫理規程、会員懲罰手続規程に則り、当該会員に対して懲戒を科した。

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成しておりません。

以上